

花のある空間

大高 令子

夏に元気を与える ヒマワリのコンポジション

フランス語で“^{トゥルヌソル}tournesol”＝太陽を向く花と呼ばれるヒマワリは、日本でも夏を代表する花のひとつです。暑さに強く、ダイナミックで鮮やかな黄色が元気を与えてくれます。夏にお馴染みのヒマワリですが、ハウス栽培によって春から出回り始め、サイズや色も多種多様なものが見られるようになりました。

今月は、爽やかなレモンイエロー色のヒマワリに、緑の実を付けたサンキライを合わせて、夏らしいコンポジション(構成)をつくってみましょう。

まず陶器製のジャグに給水したフローラルフォームをセットし、フローラルフォームが半分ほど浸かるように水をいれておきます。

最初にヒマワリを挿します。ヒマワリは葉を落とし、単調にならないように平たい花が少しずつ重なり合うように配置します。

次に、蔓性のサンキライを切らずに長いままヒマワリの花とジャグの縁の隙間に巻き付けます。サンキライは、茎をフローラルフォームに深く挿してから巻き付けてください。

最後に、クレマチスを斜め手前に長めに挿してアクセントにします。

夏でも日持ちするヒマワリですが、花卉は比較的早く散り始めることもあります。そんな場合は、写真のように花卉をはずし、ガクと花芯だけにし飾ることで、一層長く楽しめます。



今月の花材

ヒマワリ [ピンセントポメロ] …… 黄色の花

クレマチス …… 淡い紫色の花

サンキライ …… 緑の実をつけた蔓性の葉

その他 …… 陶器製ジャグ (水差し)

フローラルフォーム (フラワーアレンジメント用のスポンジ)

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。